

家具工事 共通仕様 「図面中に特記なき所は下記の仕様とする。」										F-1	収納戸棚	1ヶ所	1階 エントランスホール	既製品													
1. 家具使用者の安全性に関わる必須事項 ①使用者の怪我防止の観点から、全ての建具の角は10mm以上の角R加工を行うこと。 ②VOCを含まない、有機揮発分の放出がない粉体塗装を使用すること ③地震時の安全性を考慮し、一部ワゴンを除き、把手は全て耐震ラッチ付きとすること。 2. 家具永年使用のための耐久性に関わる必須事項 ①錆防止のために、亜鉛メッキ処理を施したメッキ鋼板（SECC）を使用すること。（亜鉛メッキ処理を施していないSPCCは使用不可） ②B仕様（スチール製）の下段扉色は、ポイントカラー9色以上より色を選択出来ること。（剥がれ防止の観点からシート張りは使用不可） 3. その他必須事項 ①ISO14001かつISO9001取得メーカー品であること。 ②安全性・耐久性に関わる部分については、事前にサンプル・証明書を全て提出し承認を得ること。										<table><tr><td>本体</td><td>電気亜鉛めっき鋼板（SECC）、有害なVOCの発散がない粉体焼付塗装とすること。</td></tr><tr><td>棚</td><td>電気亜鉛めっき鋼板（SECC）、有害なVOCの発散がない粉体焼付塗装とすること。</td></tr><tr><td>扉</td><td>電気亜鉛めっき鋼板（SECC）、有害なVOCの発散がない粉体焼付塗装とすること。</td></tr><tr><td>把手</td><td>ラッチ機能付き大型把手ABS樹脂成型品</td></tr><tr><td>ベース</td><td>冷間圧延鋼板（SPCC）、有害なVOCの発散がない粉体焼付塗装とし、床との隙間の出ないダブルベースとすること。</td></tr></table> 900 18 864 18 X Y 扉：粉体焼付塗装 透明強化ガラス t4.0 引手：ABS樹脂成型品 シリンダー錠 400 本体：SECC t0.7~t2.0 粉体焼付塗装 φ8穴加工（塞ぎキャップ付） 可動棚：SECC t0.7 1803 (51) 702 1050 1000 25 328 328 ベース：SPCC t0.6~t1.2 高さ調整範囲51~72mm 粉体焼付塗装 R10 左扉 右扉 X部：上部戸先R加工 R10 左扉 右扉 Y部：下部戸先R加工 10R 10R 扉コーナーR指示図 参考品番：HS-45（改）								本体	電気亜鉛めっき鋼板（SECC）、有害なVOCの発散がない粉体焼付塗装とすること。	棚	電気亜鉛めっき鋼板（SECC）、有害なVOCの発散がない粉体焼付塗装とすること。	扉	電気亜鉛めっき鋼板（SECC）、有害なVOCの発散がない粉体焼付塗装とすること。	把手	ラッチ機能付き大型把手ABS樹脂成型品	ベース	冷間圧延鋼板（SPCC）、有害なVOCの発散がない粉体焼付塗装とし、床との隙間の出ないダブルベースとすること。
本体	電気亜鉛めっき鋼板（SECC）、有害なVOCの発散がない粉体焼付塗装とすること。																										
棚	電気亜鉛めっき鋼板（SECC）、有害なVOCの発散がない粉体焼付塗装とすること。																										
扉	電気亜鉛めっき鋼板（SECC）、有害なVOCの発散がない粉体焼付塗装とすること。																										
把手	ラッチ機能付き大型把手ABS樹脂成型品																										
ベース	冷間圧延鋼板（SPCC）、有害なVOCの発散がない粉体焼付塗装とし、床との隙間の出ないダブルベースとすること。																										
F-2	受付カウンター	1ヶ所	1階 エントランスホール	既製品																							
2653 853 1800 440 413 塞ぎ板：SECC t0.8 中棚：パーティクルボード t30 フロントパネル：SECC t0.8 巾木：SECC t0.8 アジャスター：ABS アジャスター：PP 2700 853 413 440 側板：SECC t0.8 棚板：SECC t0.8 底板板：SECC t0.8 引戸：SECC t0.8 取手：ABS 鍵 2653 コードホール：ABS 天板：パーティクルボード t30 天板エッジ：PVC 3553 853 413 440 30 425 310 横仕切り板：SECC t0.8 700 670 30 920 950 AT脚：SECC t0.8 フロントパネル：SECC t0.8 巾木：SPCC t0.8 参考品番：HCST-18 SKA-90（改） サイドパネルSPIF										<table><tr><td>本体</td><td>電気亜鉛めっき鋼板（SECC）、有害なVOCの発散がない粉体焼付塗装とすること。</td></tr><tr><td>棚</td><td>電気亜鉛めっき鋼板（SECC）、有害なVOCの発散がない粉体焼付塗装とすること。</td></tr><tr><td>引戸</td><td>電気亜鉛めっき鋼板（SECC）、有害なVOCの発散がない粉体焼付塗装とすること。</td></tr><tr><td>引手</td><td>ABS樹脂成型品</td></tr><tr><td>巾木</td><td>電気亜鉛めっき鋼板（SECC）、有害なVOCの発散がない粉体焼付塗装とすること。</td></tr></table>								本体	電気亜鉛めっき鋼板（SECC）、有害なVOCの発散がない粉体焼付塗装とすること。	棚	電気亜鉛めっき鋼板（SECC）、有害なVOCの発散がない粉体焼付塗装とすること。	引戸	電気亜鉛めっき鋼板（SECC）、有害なVOCの発散がない粉体焼付塗装とすること。	引手	ABS樹脂成型品	巾木	電気亜鉛めっき鋼板（SECC）、有害なVOCの発散がない粉体焼付塗装とすること。
本体	電気亜鉛めっき鋼板（SECC）、有害なVOCの発散がない粉体焼付塗装とすること。																										
棚	電気亜鉛めっき鋼板（SECC）、有害なVOCの発散がない粉体焼付塗装とすること。																										
引戸	電気亜鉛めっき鋼板（SECC）、有害なVOCの発散がない粉体焼付塗装とすること。																										
引手	ABS樹脂成型品																										
巾木	電気亜鉛めっき鋼板（SECC）、有害なVOCの発散がない粉体焼付塗装とすること。																										
事業年度	年度	設計	三原市都市部建築課			大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名 有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之	図面名称・縮尺 S=1/20 (A3版-71%縮小)	図番												
工事完成	年度	令和 年 月									建築	元ゆめきやりあセンター改修改修工事（建築主体工事）	家具詳細図（1）	A-96													

[illegible]